

平成29年度 女性医師キャリア支援モデル 普及推進事業



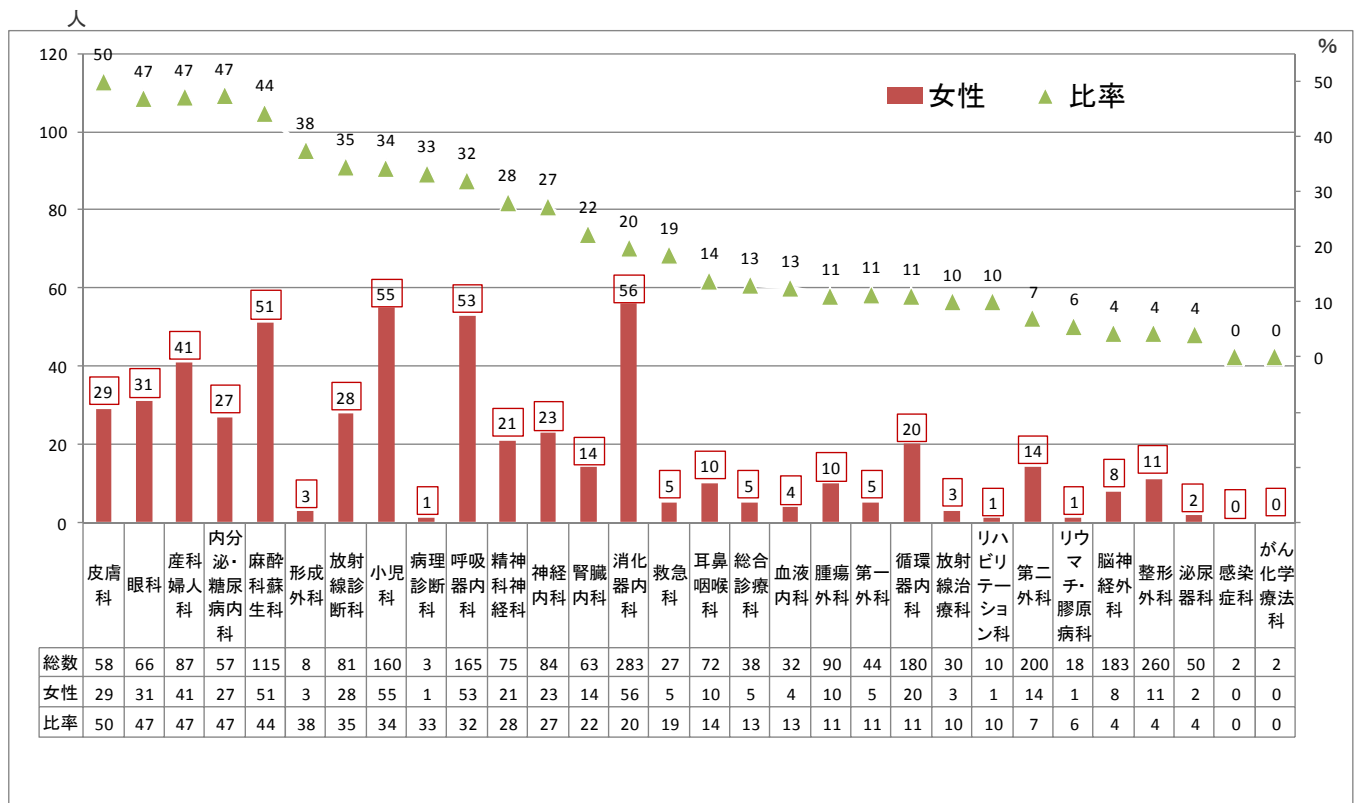
広島大学

1



広島大学

広島大学病院・教育関連病院 女性医師数と比率



2

【設置目的】

- ・働きやすい効率のよい職場環境の整備
- ・働き続けられる職場
- ・離職しても復帰しやすい職場
- ・女性医師のキャリア継続支援

【支援内容】

- ・女性医師のキャリア継続支援に関する業務
- ※仕事と家庭の両立を念頭に支援

◆運営委員会 年間6回

広島大学病院女性医師支援センターの円滑な運営を図ることを目的とし次に掲げる事項を協議する

(1)女性医師支援に関すること
(2)センター運営に関すること

◆委員

センター長
副センター長
内科系の女性医師のうちから2名
外科計の女性医師のうちから2名
医療政策グループリーダー
その他病院長が必要と認められた者若干人
※委員は、病院長が任命又は委嘱する

平成29年度運営委員会メンバー 14名

委員名	職名	専門分野	性別
委員長	教授	小児科学	男性
副委員長	講師	心臓血管生理医学	女性
委員	助教	麻酔科	女性
委員	特任助教	放射線腫瘍学	女性
委員	助教	整形外科	女性
委員	特任助教	救急集中治療医学	女性
委員	講師	内分泌・糖尿病内科	男性
委員	講師	眼科	男性
委員	講師	小児科	男性
委員	准教授	麻酔蘇生学	男性
委員	助教	皮膚科	男性
委員	助教	産科婦人科学	男性
委員	講師	放射線診断科	男性
委員	グループリーダー	医療政策室	男性

3

平成29年度

女性医師キャリア支援モデル普及推進事業実施計画

1. 職場の理解にかかる取り組み

(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築

女性医師のワーク・ライフ・バランス、女性医師キャリア形成をテーマとした懇談会・講演会(問題提起・解決策の模索)を地域の医療機関・関係団体と連携し開催する。

(2) センター運営会議の開催

女性医師懇談会、相談窓口からの相談事項などを運営会議にて情報共有し、個々女性医師のキャリア支援、就職・復職支援に向け、総合会議でのマッチングを諮る場とする。

(3) センター総合会議の開催

県内の病院・各診療科・関係団体のすべてが一堂に会して女性医師、大学診療科、教育関連病院間でのマッチングを行う。

2. 相談窓口の設置: キャリアアドバイザー、コーディネーター

3. 勤務体制、診療体制に関わる取り組み

定員外の増員分の「女性支援枠」の導入、複数主治医制などの緊急時バックアップ体制の推進

4. 保育に関わる取り組み

保育に関わる情報提供、病児保育の充実、小学生の長期休暇中の学童保育

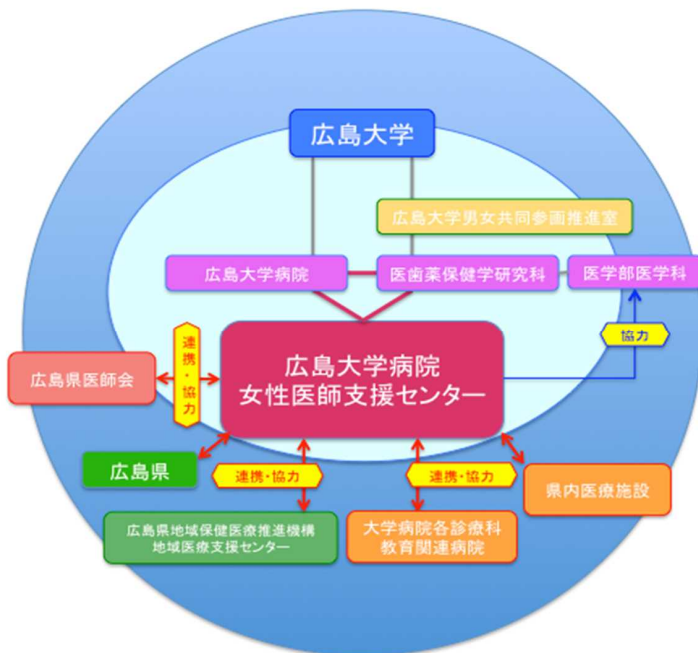
5. 復職支援に関わる取り組み

復職支援学習システム、復職支援研修コース

1. 職場の理解にかかるとの取り組み

広島大学病院女性医師支援センター連携体制

地域の医療機関，関係団体等との連携体制の構築



広島県医師会女性医師部会

女性医師の医療現場での環境整備，男女共同参画の医療政策や医療行政及び医師会活動，女性医師相互の親睦及び福祉の増進に関するについて取り組む

広島県地域保健医療推進機構 地域医療支援センター

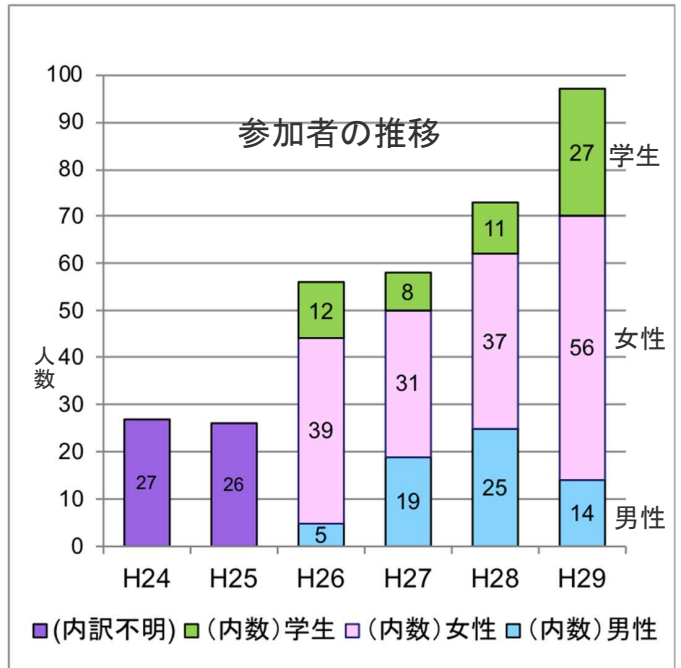
地域医療の医師確保における女性医師活躍を支援(宿直免除等勤務環境整備，復職研修，子育て支援)

1-(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築

女性医師・女子医学生をサポートするための講演会(問題提起・解決策の模索)

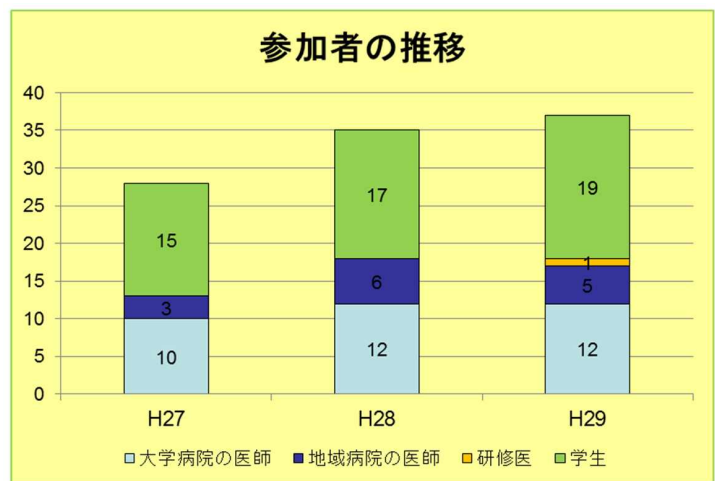
【医学生、研修医等をサポートするための会】

- H24年度「広島大学における医学生・研修医・子育て中医師へのワークライフバランス支援体制について」
- H25年度「広島大学の男女共同参画の取組みについて」
- H26年度「見つけてください 貴女の未来」
- H27年度「それぞれの立場からみた女性医師支援」
- H28年度「それぞれの立場からみた女性医師支援」
- H29年度「結婚と出産のタイミング」



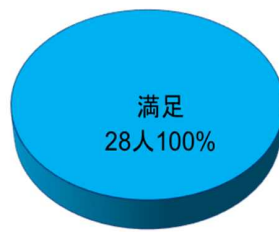
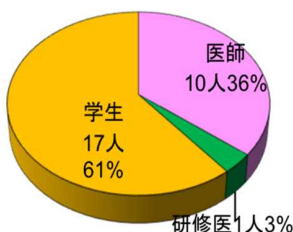
参加者(女子医学生)の増加→女性医師のキャリア意識向上

1-(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築

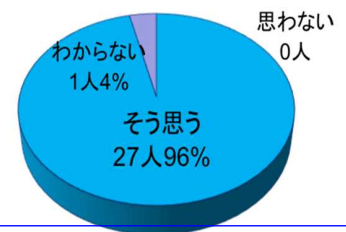


H29年度アンケート結果(回収率76%)

幅広い医師層での参加者の増加, 高い満足度→女性医師間の交流強化



交流会についてお伺いします



本交流会を開くことは、今後の女性医師間のつながりに有効だと思いますか

1-(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築



1-(1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築

講演会、懇談会の成果

- ・参加者の増加：特に男性医師ならびに医局長
- ・女性医師キャリア支援に対する問題点の共有
→ 解決策に対する議論
- ・女子学生、研修医に対する早期からの問題認識
- ・女子学生、研修医に対するロールモデルの提示

1-(2) センター運営会議

- ・女性医師懇談会，相談窓口からの相談事項の共有
- ・女性医師のキャリア支援，就職・復職支援における問題提起・解決策
- ・総合会議の開催

センター運営会議開催履歴		主な議題
第1回	平成29年6月16日(金)	運営組織，事業計画について—総合会議について
第2回	平成29年9月8日(金)	女性医師支援枠について，センター総合会議について
第3回	平成29年10月6日(金)	女性医師支援枠審査・承認
第4回	平成29年11月6日(月)	センター総合会議について，保育園情報について，講演会について
第5回	平成30年1月11日(木)	評価委員会の開催について，女性医師ロールモデルの紹介について

11

1-(2) センター運営会議

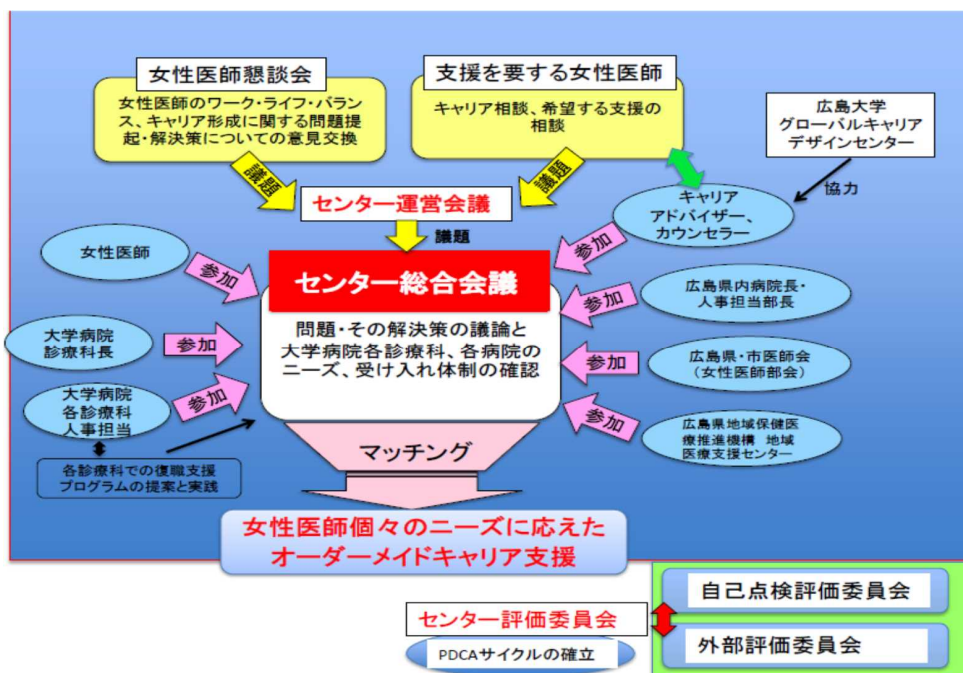
センターの具体的活動目標

- ・各診療科からの女性医師支援のための提案
- ・女性医師を含めた医局との連絡網の充実
- ・勤務条件に制約のある女性医師の医局人事外での就職
- ・保育所の情報収集と伝達
- ・病児保育に関する情報と伝達
- ・医学部学生時代からのキャリア形成紹介と教育

1-(3) センター総合会議

開催日:平成29年11月17日 17時~19時

県内の病院・各診療科・関係団体のすべてが一堂に会して、医局等に所属する女性医師が、派遣人事の枠外にて関連病院での勤務が可能となるようマッチングすることを目的



1-(3) センター総合会議

参加者

- ・大学病院19診療科から科長または各医局等人事担当者
- ・教育関連病院13施設の病院長または人事担当者
- ・広島県医師会
- ・広島市医師会
- ・広島県地域医療支援センター
- ・広島県
- ・広島大学病院女性医師支援センター運営委員会委員

広大関連の人事交流医師数30人以上の病院分布図





1-(3) センター総合会議:各部署からのご意見

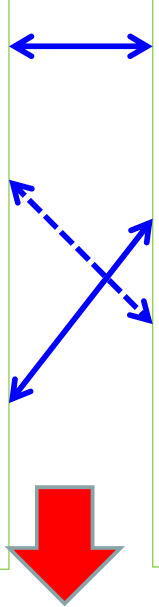
●教育関連病院サイド

(多くの施設で女性医師が2-3割)

- ・女性医師に対して短時間勤務, 当直免除等の柔軟な対応
↓
他の医師への負担増
- ・小規模病院: 当直可能医師の確保
- ・女性医師の夜間当直免除
↓
休日出勤でカバー
- ・定員枠外での女性医師雇用 (キャリアの継続)

●大学医局サイド

- ・非常勤医師としての勤務体制 (キャリアの継続)
- ・医師数減少に対応した苦しい人事
- ・定員枠外での採用希望 (小児科, 麻酔科)
- ・当直医師不足による診療科閉鎖 (産科婦人科)



キャリアを継続しながら, リーダーを目指す目標



(3) センター総合会議

センター総合会議開催の成果

1. 教育関連病院の現状, 取り組みについての情報収集
2. 派遣元である大学病院各医局の現状
3. 勤務条件に制約のある女性医師の定員枠外での雇用の可能性



女性医師のキャリア継続に対する意識共有
女性医師支援センターが教育関連病院と医局とのマッチング窓口

2. 相談窓口等にかかる取り組み

17

相談窓口の設置

広島大学病院 開設しました！！
女性医師支援センター

先輩女性医師のお話を聞いてみたい！

妊娠しても続けていける？

ブランクがあるけど・・・

また働きたい！

育児と仕事の両立のコツは？

育児中だけど専門医をとりたい！

みんなどうやって乗り越えた？

まずはお電話ください。

メールでのご相談もお受けします。

一人で悩まず、相談してみませんか？

広島大学病院女性医師支援センター
広島市南区農1-2-3 臨床管理棟2階 (医療政策室内) 082-257-1505
iryō-seisaku@office.hiroshima-u.ac.jp



相談件数と内容

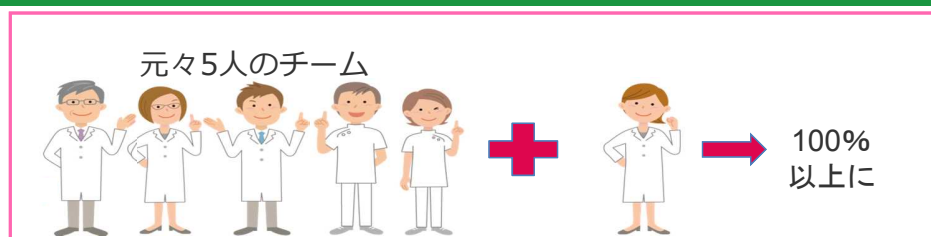
- 女性医師から5件
- ・保育園利用について
 - ・女性支援枠について
 - ・マタニティ白衣の利用について
- 医局から8件
- ・女性支援枠について

18

3. 勤務体制，診療体制に関わる取り組み

19

定員外の増員分の「女性支援枠」の導入



	診療科	勤務形態	申請理由	今後の勤務予定
1	脳神経外科	月 10:00～13:00 木 10:00～13:00 (週6時間)	結婚・妊娠・出産・育児のため第一線から遠ざかっていたが、今回、定期手術日の外来業務を担当してもらう。画像診断などの検査にも従事させ、臨床の感覚を取り戻して貰いたい。	引き続き本院にて勤務 (非常勤医師)
2	産科婦人科	月～金 9:00～15:00 (週25時間) ※休憩 12:00～13:00	初産の産休明けで勤務可能となったが、前勤務病院は退職し、現在フルタイム勤務は困難であるため。	関連病院に短時間常勤職員
3	放射線診断科	月～水 10:00～16:00 金 10:00～16:00 (週22時間) ※休憩12:30～13:00	専門医取得後の常勤復帰を本人が強く希望しており支援を希望するため。	引き続き本院にて勤務 (非常勤医師)
4	呼吸器内科	月～金 8:30～15:30 (週30時間)	現在は育児のために非常勤医師として就労時間を制限しているが、医師3年目であり、医師としてまだ未熟のためスキルアップが必要である。そのためにも今後、常勤医師としてフルタイム勤務することを希望しているため申請する。	関連病院に短時間常勤職員
5	放射線診断科	金 10:00～12:00 (週2時間)	育児が落ち着き、常勤復帰を本人が強く希望しており支援を希望するため。	引き続き本院にて勤務 (非常勤医師)

20

「女性支援枠」の成果

産科婦人科の場合・・・

短時間勤務する女性医師の実績が過去になかった。

子の急病、
勤務時間の制約、
働ける・・・？

オーダーメイドのキャリア支援を実施

育児中の女性医師の復職が実現

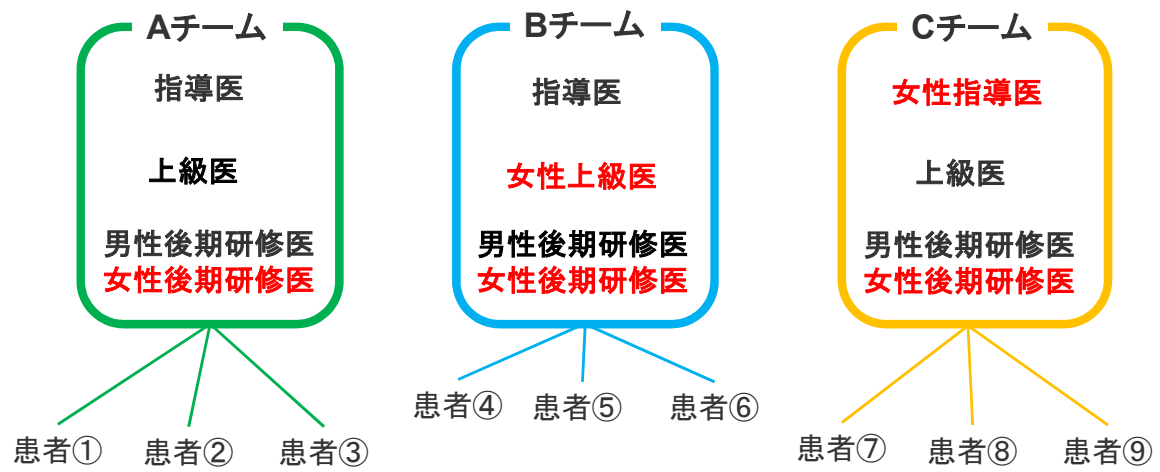
診療科の負担軽減 女性医師のモチベーション

「女性支援枠」の導入で5名が復職，来年度もキャリアを継続。
(2名は関連病院へ短時間常勤職員に)

複数主治医制の導入・推進

多くの診療科で複数主治医制・チーム医療制を導入

チーム内に女性を分散させて配置 → 緊急時のチームでの対応



4. 保育に関わる取り組み

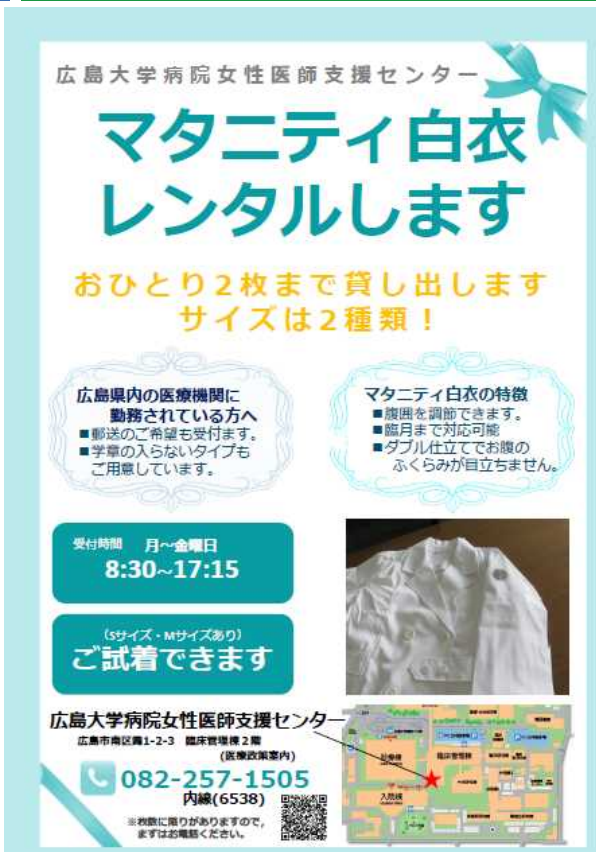
大学病院敷地内に病院職員用と大学職員用の保育園が設置

- ・HPで保育に関わる情報提供
- ・小学生の長期休暇中の学童保育
- ・女性医師のメーリングリストを作成
→保育情報を送付



The screenshot shows the website for the Hiroshima University Hospital Women's Doctor Support Center. The main navigation bar includes language options (Japanese, English, Chinese, Arabic, Spanish) and utility links like 'Site Map', 'Access', and 'Contact Us'. The page title is 'Medical Policy' and the breadcrumb trail is 'Home > Medical Policy > Hiroshima University Hospital Women's Doctor Support Center'. A sidebar on the left lists various services like 'Medical Policy Summary', 'Hiroshima Regional Medical Association', 'ISO9001', and 'Hospital Function Evaluation'. The main content area features a red-bordered box for 'Hiroshima University Hospital Women's Doctor Support Center' with a 'Notice (Updated H30.1.15)' section. The notice contains several bullet points regarding childcare recruitment for fiscal year 2018 (Heisei 30) and 2019 (Heisei 31), including details for 'Hiroshima University Goshomotsu Childcare Room' and 'Hiroshima University Tanboba Childcare Room'. It also mentions the opening of a 'Winter Children's Club (Childcare)' in fiscal year 2019 and a 'Tea Meeting' on December 7th. A PDF link for the tea meeting is provided. The page number '23' is visible at the bottom right.

4. 保育に関わる取り組み



The poster is for the 'Maternity White Rental Service' provided by the Hiroshima University Hospital Women's Doctor Support Center. The main headline reads 'Maternity White Rental Service' in large blue and green text. Below it, it states 'Rent up to 2 pieces at once' and 'Size is 2 types!'. There are two callout boxes: one for medical facilities in Hiroshima Prefecture and another for the features of the maternity white (adjustable, adjustable by month, and foldable). A photo of a white maternity garment is shown. The service hours are listed as 'Month ~ Sunday 8:30 ~ 17:15'. A QR code and contact information (082-257-1505) are provided at the bottom. A map shows the location of the support center on the 2nd floor of the medical policy building.

平成29年7月から
マタニティ白衣レンタル開始

(診療科名)	(職名)
産科婦人科	クリニカル・スタッフ H29.10. 5 ~ H29.12. 24
皮膚科	医科診療医 H30. 2.15 ~ H30. 6. 22

広島県内の病院に勤務する女性医師からの問い合わせも有り。
今後、対応予定。

4. 保育に関わる取り組み

保育情報の提供により

- ・申し込み時期を逸さない情報提供
- ・保育サービス内容の周知

今後の取り組み

- ・妊娠・出産を控えた女性医師の行動準備・情報を提示
- ・病児保育の充実と連携（常時保育園との連携等）
- ・院内保育園だけでなく市内，周辺地域の保育園情報のリンク
- ・保育サポーター事業（広島県医師会子育て支援事業）の開始
→ ベビーシッターの斡旋と利用

25

5. 復職支援に関わる取組み

①各診療科独自の取組み

- ・女性医師との日程調整
- ・朝8時台のカンファレンス，ミーティングの免除
- ・緊急手術，緊急処置などの際に勤務時間延長とならないよう配慮
- ・子の急病などの際の勤務変更など配慮
- ・家庭の事情などによる勤務時間，勤務形態などの変更への配慮
- ・時間短縮勤務の徹底
- ・急な欠勤も対応可能にする
- ・日当直及び夜間待機の免除
- ・診療科スタッフの診療支援（陪席，技術支援）
- ・日常診療や最新医療の知識，手技の獲得
- ・e-learningの推進

②模擬病棟，シミュレーターの常時使用



26

本事業からの今後の支援策

1. 職場の理解にかかる取り組み
 - (1) 地域の医療機関、関係団体等との連携体制の構築：現体制の維持
広島県ならびに広島県医師会との連携強化 ← 財源確保
 - (2) センター運営会議の定期開催
 - (3) センター総合会議の開催 → 診療所へも拡充？
2. 相談窓口 → キャリアアドバイザー、コーディネーターによる相談事業の拡充
3. 勤務体制、診療体制に関わる取り組み
定員外の増員分の「女性支援枠」の導入、普及
複数(チーム)主治医制の定着
4. 保育に関わる取り組み
保育情報共有、病児保育の充実、小学生の長期休暇中の学童保育 → 継続
保育サポーター事業への参入、普及
5. 復職支援に関わる取り組み
復職支援学習システム、復職支援研修コース → 継続



PDCAサイクルの実行、有効性の高いものを継続

27

診療科における女性医師ロールモデル呈示

各診療科において、結婚や出産など女性医師の多様なキャリアの在り方をロールモデルとして呈示し、若手女性医師、女性研修医、女子医学生への参考となるよう収集した。診療科間でのロールモデルを参照、共有する。

記入例3

診療科名：〇〇科 卒後〇年 A医師
現在の状況
勤務先：〇〇病院〇〇科勤務
勤務形態：非常勤(週3日勤務)

西暦	年齢	キャリア	プライベート
XXXX	24才	医学部卒業	
	25才	研修医1年目	結婚
	26才	研修医2年目	第1子出産、産後2カ月で研修再開。
	27才	研修医3年目	子育てと研修で、毎日ドタバタ
	28才	〇〇病院〇〇科勤務	第1子院内保育園へ(当直時は夫が家事・育児)
	31歳		第2子出産(半年間、産休・育児)
	32才	〇〇病院〇〇科非常勤(週2日)	第1子小学校入学、学童保育に入れずあせる。 第2子はベビーシッターに
	34才	〇〇病院〇〇科勤務(宿直は免除)	
	35才	専門医取得	
	37才	〇〇病院〇〇科医長	夫が単身赴任。宿直時、子は義姉夫婦に預ける。
	39才	〇〇病院〇〇科部長	単身赴任から夫がもどる。
	43才	〇〇病院〇〇科非常勤(月火水)	母親を遠距離介護

■これまでの振り返って

.....

■後輩へのメッセージ

.....

■女性医師支援センターを通しての女子学生及び女性の研修医からの相談

可

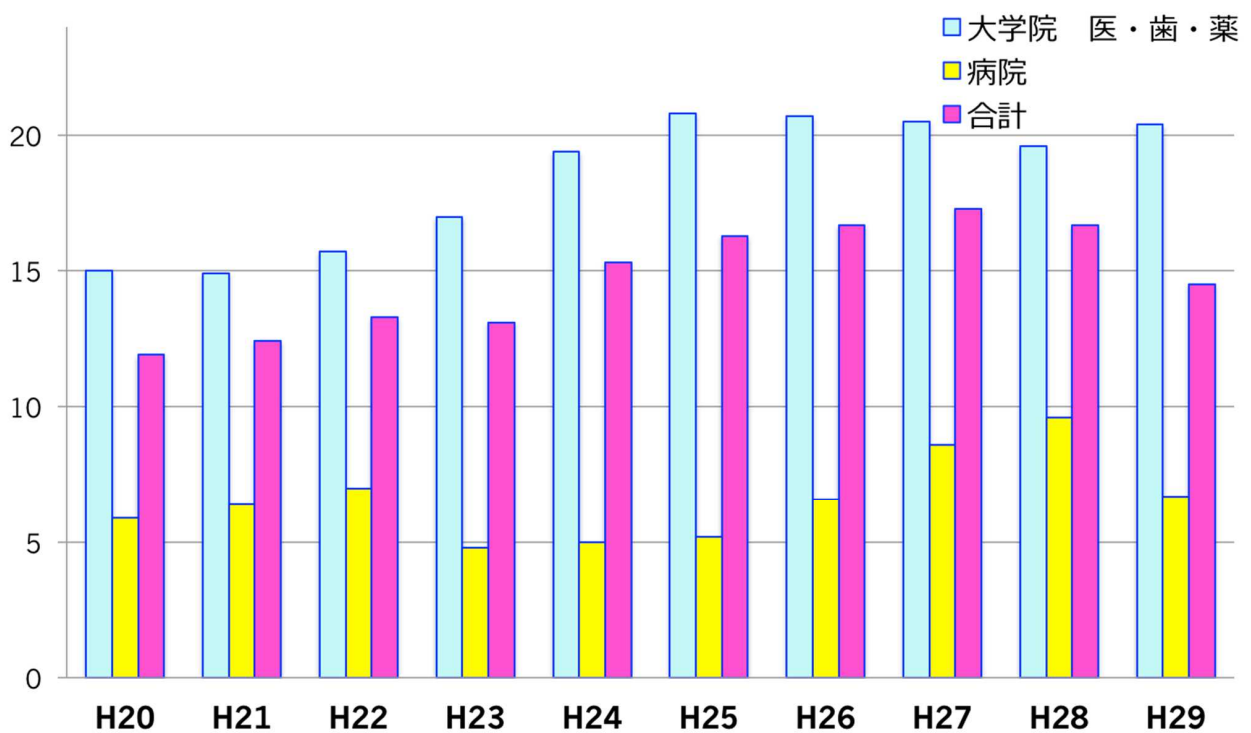
希望の先生への相談が行えるよう、
女性医師支援センターが橋渡し

診療科	
消化器・代謝内科	2人
内分泌・糖尿病内科	3人
神経内科	3人
循環器内科	3人
精神科神経科	3人
小児科	3人
皮膚科	3人
泌尿器科	1人
眼科	2人
放射線診断科	3人
放射線治療科	2人
麻酔科蘇生科	3人
救急科	2人
外科	2人
計	35人

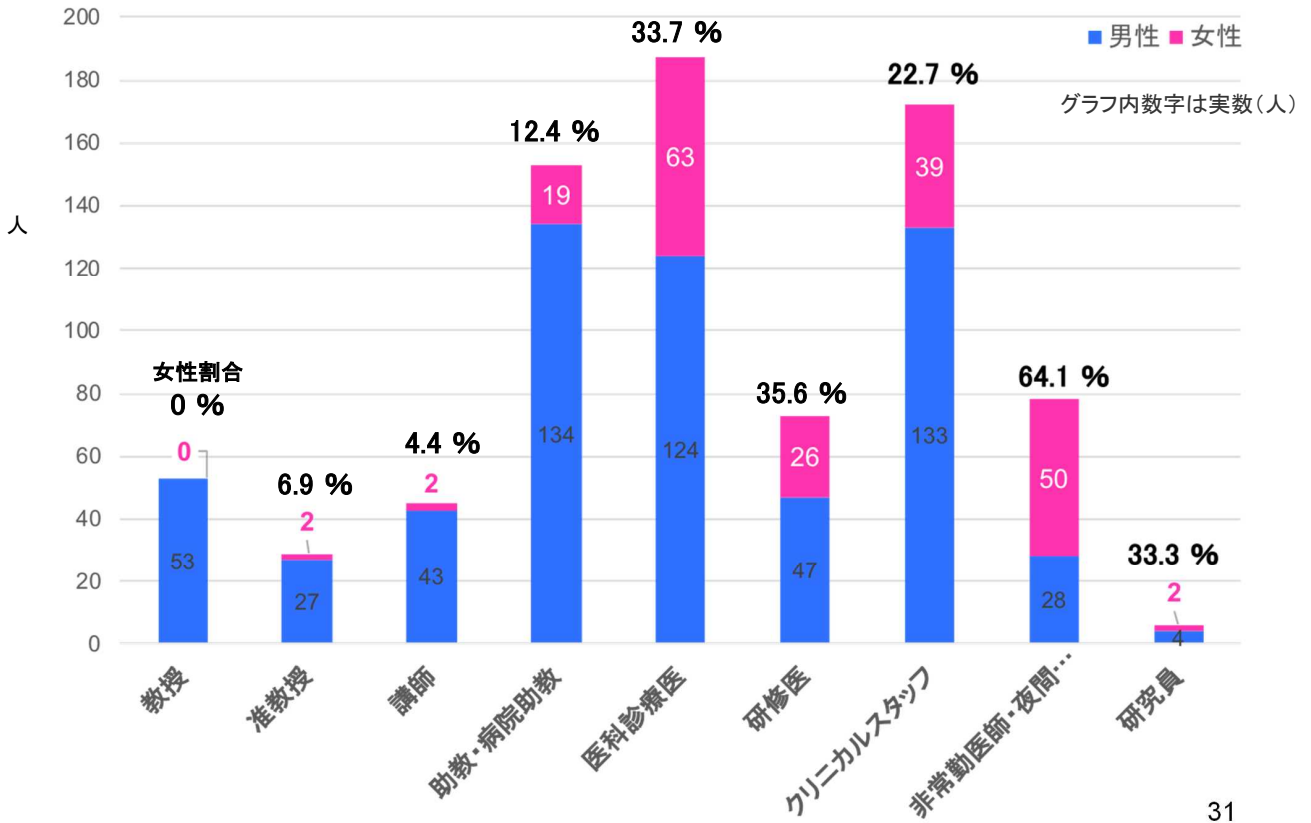
28

参考資料

広島大学 医系女性教員割合の推移



広島大学病院 医師免許登録者(H29.10月現在)



各診療科へのアンケートの実施

広島大学病院女性医師支援センター運営委員会 アンケート

(大学病院には医歯薬保健学研究科の構成員も含む)

現在の大学病院、大学教育関連病院(大学からの派遣)での医師総数、女性医師数と割合(概数でも可)

総数	女性医師数	約()%
----	-------	-------

現在の大学病院、大学教育関連病院で専門医を目指している医師総数、女性医師数と割合(概数でも可)(詳細がわからなければ卒業○年目までの医師数を書いてください)

総数	女性医師数	約()%
----	-------	-------

現在の大学病院、大学教育関連病院に在籍している女性医師の経験年数と専門医取得状況

診療科所属後	人(専門医取得者数)	人
5年未満		
5年10年未満		
10年15年未満		
15年以上		

過去5年に専門医を取得した医師総数と女性医師数ならびに取得女性医師が大学病院、大学教育関連病院で勤務している人数

年度	総数	人	女性医師数	人(在籍女性医師数)	人
2016年度					
2015年度					
2014年度					
2013年度					
2012年度					

過去5年で、専門医を取得後に大学病院、大学教育関連病院を辞めた女性医師とその理由(個人名はいませんので、理由をお願いします)

2012年度から16年度の5年間で大学病院、大学教育関連病院を退職した医師総数と女性医師数

診療科所属後	総数	人	女性医師数	人
5年未満				
5年10年未満				
10年15年未満				
15年以上				

上記の5年間で大学病院、大学教育関連病院を退職した医師の勤務形態(複数可)

勤務形態	人	女性	人
常勤(男性)			
常勤以外の勤務形態(時短アルバイト)			
休職(男性)			
開業(男性)			
不明(男性)			

2012年度から16年度の5年間で、産休・育休()人

上記医師での、復職後の勤務形態

勤務形態	人	女性	人
フルタイム			
夜勤・当直業務なしのフルタイム			
時短勤務			
大学院生			
その他			

わかれば勤務形態を記述ください

後期レジデント勧誘の際、女性医師獲得のために何か行っていますか?

毎回行っている

内容:

今後行う予定

内容:

全く行っていない、または行う予定はない

診療科(教育関連病院も含む)内で、モデルケースとなる女性医師がいますか?

いる

どのようなケース:

いない

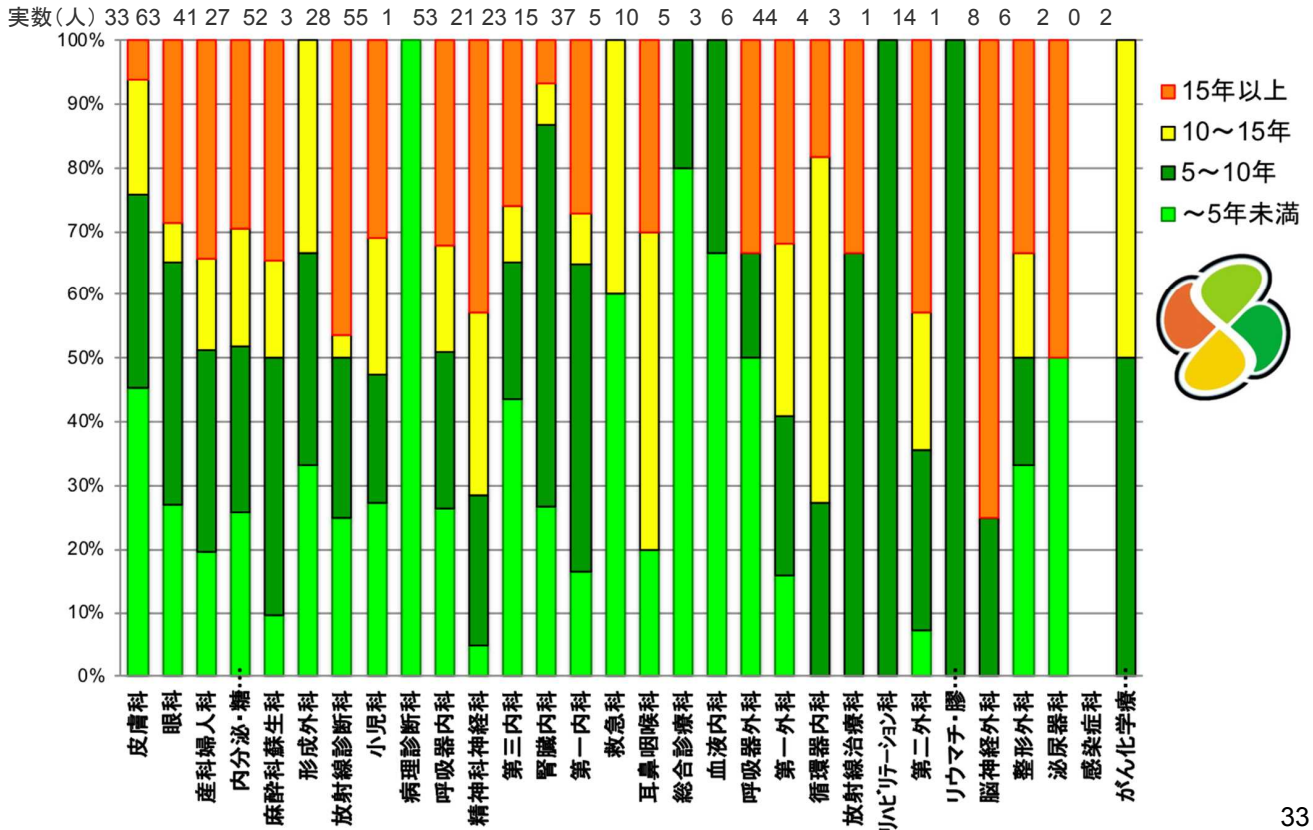
人事上でライフスタイルに関わらず女性医師に求めることはありますか?

具体的内容:

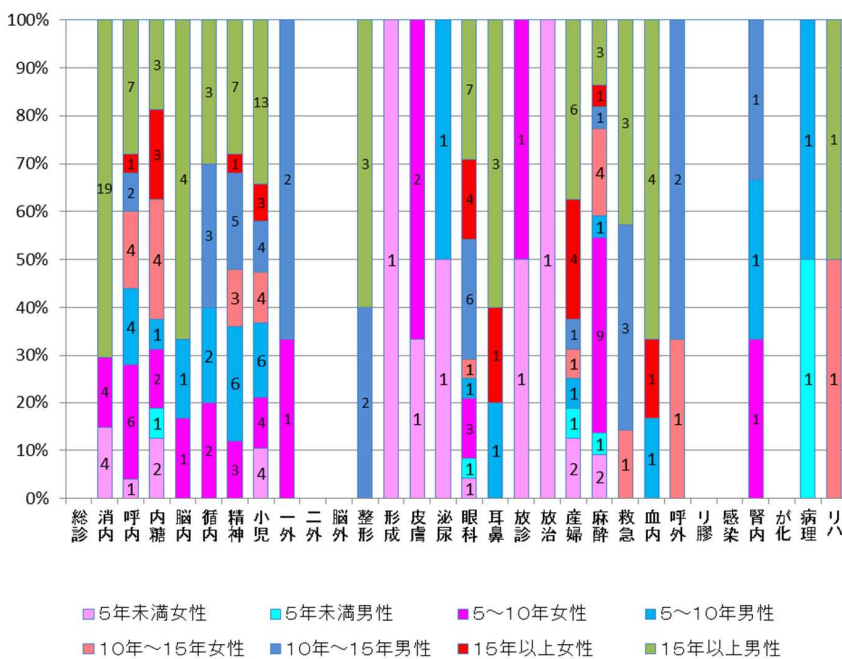
診療科の専門医プログラムにおいて、男女参画に関する配慮をしていますか?

ある

具体的内容:

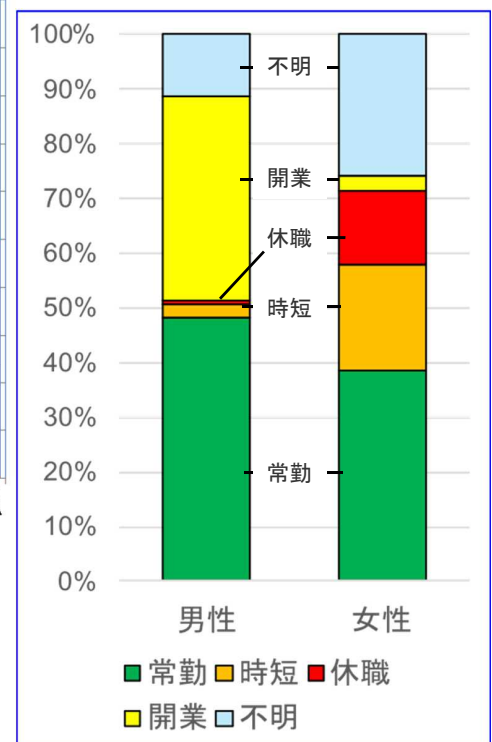


過去5年間で大学病院, 大学教育関連病院を退職した 医師の各診療科男女別割合と退職後の勤務形態



※グラフ内数字は、人数、色別年数は、診療科等所属年数

診療科等を退職後の勤務形態



過去5年間で、産休・育休などの休職から復職した女性医師の勤務形態

